

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2007年度
Aコース(企画助成コース) 助成事業報告書

2008年3月6日

団体名(ふりがな) 特定非営利活動法人やまぼうし

事業名 NPOやまぼうし宅老所
「だしで作ろう減塩食」「缶詰でつくる簡単減塩食」レシピ集 発行事業

連絡担当者お名前(ふりがな) わた べ あけ み
渡 部 明 美

担当者 電話: FAX:
E-mail:

助成金を使って行った事業について、記述してください。
(活動の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)

別添 レシピ集
『ダシで作ろう、減塩食』 NPO やまぼうし
を発行しました。

(参考:表紙イメージ)



助成金を使って行った事業について、記述してください。(続き)

- 1 規格 A4 62ページ
- 2 品質 コート 86.5k (表紙 カラー)
コート 41.5k (中身 カラー5ページ、他は1色)
- 3 数量 100冊

今回の助成事業には、どのような形で、複数の団体の協働やボランティアの参加がありましたか？ 具体的に記述してください(人数、関わりの内容、参加者の感想など)

個人では、延べ20人ほどレシピ(案)作成や調理補助などに、また校正作業に延べ3人のボランティアの参加協力をいただきました。

団体では、宮城県仙南保健福祉事務所の情報発信スペースにて、レシピ紹介がなされています。

http://www.pref.miyagi.jp/sn-hohuku/kikaku/support/yama_01.pdf

<http://www.pref.miyagi.jp/sn%2Dhohuku/kikaku/tiikikatudou/katudou04.pdf>

また、今回のレシピ集作成に際して、宅老の利用者からは、「こんなにたくさん料理してきたのね。」「ダシを工夫すると、野菜本来の味が生かせる。」「食材のもつ塩分だけで十分に美味しい。」など、これまでの活動を振り返る良い機会となりました。

出来上がったレシピ集を見た感想として、「始めのうちは今迄の我家の味に馴れているせいかみそ汁等は、こんな薄味なのかと思ったが、今ではこれが標準となり、家での味付けが薄味になった。」「外食した時の判断基準になってきた。」「普段の生活では分量を把握するのが難しいのですが、レシピのお陰で、とても分かりやすく調理しています。」など宅老利用者および家族より感謝の手紙をいただいております。

別紙参照：「レシピ集 『ダシで作ろう 減塩食』に対する感想」

当初の事業目的はどの程度達成できましたか

申請書に記載した事業目的

平成 18 年 4 月の事業開始以来、利用者の健康管理と行動意欲向上のため利用者とともに実践してきた活動の記録として、「ダシで作ろう、減塩食」レシピ集を発行することが出来ました。

目的の達成度（自己評価）

これまでの活動記録として、レシピ集を発行する事が出来ました。
さらに、このレシピ集により、宅老所事業の活動内容がより詳しく紹介することが出来る様になり、介護者の家族から「どのようにして塩分を控える様に作るかがわからなかったので、役立っている。」との声が寄せられています。

達成できない部分があった場合には、考えられる原因をお書きください。

予算の範囲内では、利用者が実際に作った減塩食の写真を入れることが出来ませんでした。

また、レシピ集を通して宅老所事業を紹介して利用者獲得を目指していますが、まだ発行して間もないため、直接利用者増に結びついていません。

今回の事業は、団体の活動や、地域社会にどのような成果・効果がありましたか

レシピ集を見た方から、「宅老ってそういう事していると知らなかった。」「食のバランスを考えるようになった。」「ボランティアとして参加したい。」など、宅老所事業についての理解が広まっています。

今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか
また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか

まだまだ、宅老所事業についての一般方々の理解は少なく、そのためいまだに宅老所に関心がありながらも利用をためらいがちな高齢者も多く、今後利用を促進するためのイベントの実施などが必要と考えています。

さらに、フリーペーパーでの宅老所紹介など、広報活動が必要と考えます。

<http://www.kunii-print.com/com1-20.htm>

これらの活動を通じて宅老所事業の目的である地域で孤立しがちな高齢者の交流の場の提供と、「心とからだの健康」の維持に貢献することを目指していきます。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか

「だしで作ろう減塩食」、「缶詰でつくる簡単減塩食」の実践を継続し、更に利用者自身がレシピ集をもとに献立を工夫するなど、料理を通しての「脳トレ」実践にも挑戦していきます。

今後ともこれらの活動記録として、次回は「簡単おやつレシピ集」発行を目指しますが、その資金確保が最大の課題です。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

| 項目 | 金額（円） | 内訳 | 助成金充当額 |
|-----------------|---------|----|---------|
| ろうきん地域貢献ファンド助成金 | 150,000 | | 150,000 |
| 自己資金 | 60,000 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | 210,000 | | |

支出の部

| 項目 | 金額（円） | 内訳 | 助成金充当額 |
|-----------|---------|----------------|---------|
| レシピ集印刷製本代 | 200,000 | 表紙カラー×62頁×100冊 | 200,000 |
| 消費税 | 10,000 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | 210,000 | | |

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

レシピ集の発行に対する助成、大変ありがとうございました。
おかげさまで、宅老利用者とともに実践してきた活動記録を「簡単レシピ集」としてまとめる事が出来ました。
宅老利用者からの利用料では、食材費をまかなうのが精一杯のため、とても活動記録の発行までは手が回らないのが実情です。
今後は、宅老事業を一般の方に広く知っていただくために、このレシピ集を有効に活用していきたいと考えております。
私ども資金力のないNPO支援のための「ろうきん地域貢献ファンド」のますますのご発展を祈念いたします。